



自由民主党 海沼秀幸 4
川越少年刑務所を避難所に

問当該施設周辺の住宅街は避難所も遠く災害時の避難が容易ではない。地域貢献に尽力している川越少年刑務所を指定避難所にできないのか伺う。

答危機管理監 平成28年4月の熊本地震を機に、地元自治体と避難所協定を結ぶ矯正施設が増えている。

本市でも川越少年刑務所と災害時にどのような

協力が可能か、検討を進めているところである。

川越少年刑務所の鍛錬場は、昭和44年に建設された建物で老朽化しており、指定避難所としての

指定は難しいため、広大な敷地を生かした指定緊急避難場所としての活用を検討しているところである。

川越少年刑務所と連携
農業施策



自由民主党 栗原瑞治 5
災害時の要支援者避難支援

問外部提供用名簿の自治会への提供は約24%しかない。まずは平常時から要支援者情報を把握してもらうことが最優先と考えるが、市の対応は。

答危機管理監 より多くの自治会など地域の支援者に外部提供用名簿を提示し、支援者が支援を必要とする人がどこにいますか平常時から把握しておくことにより、災害時に、

より迅速な支援につながるものと考えている。このため、より多くの自治会や自主防災組織が制度を理解し取り組んでもらえるよう、自治会連合会や自主防災会連絡会を通じ、積極的な働き掛けを行っていききたいと考えている。

災害時の要支援者支援
大会出場補助金拡充



自由民主党 岸啓祐 6
回復期の病床数不足解消

問患者の状態に応じ病床機能は分かれるが、川越比企保健医療圏において際立つて不足する回復期の病床数確保をいかに進めるかを問う。

答保健医療部長 本年度、埼玉県において、特に不足が見込まれる回復期病床等を対象とした病院整備計画の公募が行われ、川越比企保健医療圏では325床が対象となつて

いる。坂戸保健所に設置される埼玉県川越比企保健医療圏地域保健医療・回復期への既存病床の機能転換について協議されることから、本市としても市民に必要な医療提供体制が確保されるよう、協議に参加していきたい。



公明党 田畑たき子 7
一時保護所での学習支援

問一時保護となつた児童生徒は、学習面や生活面が心配される。市としてどのような支援を行うことができるか。

答学校教育部長 入所した児童生徒の特性や学習状況等の情報提供を行い、児童相談所と連携するよう努めている。また、学校復帰時点で面談や補習等を実施し、その後の学校生活に支障がないよう

配慮している。一方、児童養護施設や他の学校に転校した児童生徒には、新しい環境で円滑な生活が送れるよう、丁寧な連携を行っている。学習支援に関しては、一定期間授業が受けられないことは課題と認識しており、埼玉県福祉部や教育局と課題を共有し、今後、支援について検討していく。

児童虐待防止の取組



公明党 中村文明 8
幼児教育の無償化へ

問ぜひ先行して幼児教育の無償化の実施に向け取り組んでもらいたいと思うが、川越市としてどのように進めていく考えか。

答こども未来部長 具体的な制度設計等が国から示された段階で、市の広報紙やホームページなどで制度内容を周知していきたい。また、認可外保育施設等については、新たな事務の準備や、指導

・監督を強化し安心安全な保育が実施できるよう努める必要がある。非常に限られた期間で準備を進める必要があるため、引き続き、国や県の動向を注視し情報収集に努めるとともに、円滑な実施に向けた人的措置や予算措置を講じていきたい。



公明党 桐野忠 9
原爆写真展でのDVD活用

問原爆など戦争の悲惨さをより深く感じてもらうために、市で行う原爆写真展でDVD等の上映を実現できないか伺いたい。

答総務部長 毎年7月下旬から8月下旬にかけて、本庁舎および市民センターで開催している原爆写真展に合わせて、ビデオやDVDの映像を活用し、被爆の悲惨さを伝えることは、大変有意義なもの

と考えている。今後については、本庁舎において開催する際、1階ロビーに設置してあるモニターを活用するなど、関係課と協議し、実際に検討する。また、市民センターにおいては、実現に向けて各市民センターと協議する。

平和施策
道路等破損等の対応
公共工事発注